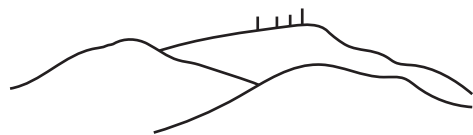


Youth Manna

2019/11/4 - 11/10



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2019/11/4(月) イザヤ 41 章

歴史を動かしておられるのは神様であることが 1-5 節で書かれているね。そして 8-20 節では、神様はイスラエルを、ご自身が選んだ者、愛する者として呼びかけている。共にいるのも、強くするのも、助けるのも、守るのも「わたし」だと神様は語られているね。私たち一人一人を選ばれた神様は、同じようにあなたにも語っているよ！そして 22 節からは偶像礼拝をする人に呼びかけ、これらの偶像に頼ることがいかに空しいことかが書かれている。

特に 8-20 節をもう一度読もう！自分の心に恐れや不安がある時、いつもこの箇所を思い出そう！そして自分の手を固く握って安心させてくださる神様を見続けよう！！

2019/11/5(火) イザヤ 42 章

この箇所では、メシアであるイエス様について、またイスラエルについて記されている。

メシアは主から霊を授けられ、全世界にさばきを行う (1,3,4)。そして、全てを創り支配されている主が、このメシアによって苦難や罪からの解放をもたらされる (5-7)。また、主は 13 節からあるように救いのみわざを行われる。その時、偶像に依り頼む者は恥をみる (17)。ところが 18 節以降に「主のしもべ」が現れる。これはイスラエルのことである。イスラエルは主に背き、罪のゆえに主がわからなくなってしまった。

恵みにも罪にも鈍感になることなく、イエス様の救いの恵みに今日も感謝しよう！

2019/11/6(水) イザヤ 43 章

イスラエルは、主に背いていたけれど、主は一方的な恵みによって贖われた。それは、イスラエルとの契約に基づく個人的、人格的な関係によるものである。主は、何を犠牲にしても、その愛を買いとくださる。

「わたし、このわたしが主であり、ほかに救い主はいない。」 (11)

天のお父さんが私を愛してくださり、恵みによって救いに導かれたことを、心から感謝します。主の愛に応えるため、今の私に何ができるか教えてください。

2019/11/7(木) イザヤ 44 章

最初に神さまは「恐れるな、あなたを祝福する」と語りかけられる。これは捕囚の民に対する回復の預言で、それは心萎えた者、希望を失った者には力強い預言であった。さらに神さまは「潤いのない地に水を注ぎ、乾いたところに豊かな流れを注ぎ」(3 節)「流れのほとりの柳の木のように、青草の間に芽生え」(4 節)させる、と言われた。これは何ら希望を感じ得ぬ状況に、新たな神の御業がなされる、という約束である。

神さまは私たちに祝福を用意しておられる。しかし目に見えぬものを信じ続けるのは難しい。だからこそ祈り、信仰を励まし合い、もっと期待していくものとなろう！！

2019/11/8(金) イザヤ 45 章

今日の箇所からは神様がイスラエルを救う計画について書かれています。キュロス王は神様を知らない人でしたが神様によって油注がれた者と言われました。神様は救われていない人も用いる事があるんですね！

周りに沢山の救われていない人がいる状況に私たちは毎日出て行きます。その人達にも神様は私達クリスチャンと変わらない愛と油を注ぎます。その神様の働きを見逃さないようにしましょう！神様の計画は「神様以外に神様は誰もいない」という目的の中にあります。その計画の一部を担うのは私達の役割ですね！

あなた以外に誰もいませんと宣言して祈ろう！

2019/11/9(土) イザヤ 46 章

偽物の神様を人々はたくさんのお金と力をかけて作った。だけど作りものの偶像は、自分で動くことも何をすることもできないんだ。人の手で作られた偶像は人々にとってかえって重荷となってしまう。私たちにとっても、神様以外に拠り所としてのもの＝偶像はそうのように自分を苦しめてしまうんだ。それとは逆に真の神様は私たちが運ぶ必要もなく、むしろ私たちのことを担いで運び、救い出してくださいとお方だと記されているね。

「正義から遠く離れている者たちよ」と神様は人々に向かって「わたしの義を近づける」と救いへと招いてくださっている！今、自分の中の偶像となっているものを手放し、神様の愛に応答しよう！そして、自分の周りの人も神様のもとへ来れるように祈ろう！

2019/11/10(日) イザヤ 47 章

今日の箇所はバビロン滅亡を預言した箇所です。

裁きのことなので読んでいて気持ちは良くなかったかもしれないけれど、十字架のイエス様を覚えて、自分が行ってしまった罪を悔い改め、神様に抛り頼んでいるなら決して裁きは恐れるものではありません。

私たちは恐れるのではなく、神様の前に出る時に一切の疑いを持たないで、神様のことばを覚え、それを無視した行いをしないことが大切なんだ。私たちは罪を犯してしまうことはあるけれど、その罪を認めて神様に抛り頼むことが一番重要なんだ。

これからも罪を認めて悔い改めて神様の恵みを受け取る日々を送ろう！